

1 学校教育目標

広い視野をもち、夢を追いかけ、未来にはばたく人間を育成する。

- ・自ら学ぶ人
- ・協力しあう人
- ・健やかな人

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学ぶ生徒を育む学校 ・豊かな心を育む学校 ・地域が誇れる学校
○児童・生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ・目標をもって自ら学ぶ生徒 ・規範意識をもって互いに協力しあう生徒 ・健康を意識し、体力向上に努める生徒
○教師像	<ul style="list-style-type: none"> ・向上心をもって実践力、指導力を高める教師 ・生徒に寄り添い、情熱をもって職務を遂行する教師 ・生徒、保護者、地域から信頼される教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

新型コロナウイルスの影響で教育活動が制約される中、生徒たちは日々学習や委員会活動に精力的に励み、落ち着いた環境のもとで生活している。前年度の成果と課題については以下の通りである。

- ① 基礎学力定着について。基礎学力が不足している生徒が多く、毎年、小学校からの復習や学習習慣づくりから始めなければならない。中学校の学習の進行と併せて授業や放課後学力補充を中心に必要な復習や繰り返し学習を行っていく。
- ② 全体的には落ち着いた学校環境であるが、集団生活に適応できない生徒や規範意識の低い生徒、SNSを介したトラブルも発生している。豊かな心の育成や適切な行動が身に付く指導を通じてそれらの状況を改善していく。また、不登校対策については、一人ひとりの状況把握と今後の対策を組織的に検討して進める。
- ③ 特別支援教室は順調に運営できているが、通常学級の生徒・保護者および教員も含めて学校全体で特別支援教育の理解促進、広報活動の活性化などの取組がさらに必要である。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R2	R3	R4	R4	R5
1	学力向上アクションプラン（基礎学力の定着、ICTの活用推進）		○	○	○	○

2	豊かな心をもつ生徒の育成	○	○	○	○	○
---	--------------	---	---	---	---	---

5 令和4年度の重点目標

重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン（基礎学力の定着、ICTの活用推進）

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標正答率・通過率)	実施結果 (正答率・通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
区学力調査通過率の引き上げ	年度末到達度確認テスト正答率 61% 令和4年度区調査通過率 62%			

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	タブレット等ICTを活用した授業推進	全教科	年間	授業内容に即した効果的なタブレットの活用。また生徒一人一台のタブレットを活用した授業の開発。	年2回の授業観察時に実施の確認	全ての教員の実施 (100%)			
2 継続	指導案に基づく授業観察	全教科	年2回	足立スタンダードを意識した指導案の作成と授業実施	年2回の授業観察時に実施の確認	全ての教員の実施 (100%)			
3 継続	学習コンテスト (漢字・計算・スペリング)	3教科	年3回	3教科の基礎的内容の定着を図る。達成感と自己肯定感を高める。	プレテスト本テストの実施	平均合格率 80%			
3 継続	読書指導と学力補充	3教科	年間	朝のベーシックタイムと放課後の学力補充における読書指導および基礎反復学習	進行管理(計画と実施)	計画の90%以上の実施			

重点的な取組事項－２		豊かな心をもつ生徒の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
豊かな人間性と社会性を持ち充実した学校生活を送る生徒の高い割合		「学習や生活に関する調査」で該当項目の肯定的評価を以下の規準で判断 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
充実した道徳教育	道徳授業の時間 A=35回以上 B=30～34回 C=30回未満 調査で肯定的評価 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員のローテーションによる道徳授業の実践 ・情操を育む朝のクラシック音楽の放送 ・いじめ撲滅週間の実施 ・人権学習週間の実施 			
意欲的な学習活動	調査で肯定的評価 A=90%以上 B=70～89% C=70%未満	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のやる気を引き出す足立スタンダードに基づく授業 ・学習課題の適切な管理 			
読書活動の推進	図書館貸出図書数の前年度比 A=10%以上増加 B=10%未満増加 C=減少	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の励行と図書室の利用促進 ・図書委員会の活動活性化 			
体験・交流活動および継続的なキャリア教育	ボランティア生徒数 A=100名以上 B=80～100名 C=79名以下 体験活動の実施 B=した C=しない	<ul style="list-style-type: none"> ・地域等での異年齢交流ボランティア活動 ・芸術体験活動の実施 ・職場体験及び上級学校訪問等 			